

科名 外科 外科-70

対象疾患名 治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌

プロトコール名 Cmap+mFOLFOX6

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	8	...	14
1	点滴注	メイン	生理食塩水	500mL	ルートキープ	↓			↓		
2	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ ガモファー デキサート注 ネオレスタール 又は パロノセトロンバッグ デキサート注 ネオレスタール	1mg 20mg 6.6~19.8mg 10mg 0.75mg 6.6~19.8mg 10mg	30分かけて	↓					
2'	点滴注	側管	生理食塩水 デキサート注 ネオレスタール	50mL 6.6~19.8mg 10mg	30分かけて				↓		
3	点滴注	側管	アービタックス 生理食塩液	250mg/m ² 250mL	医師の指示通り	↓			↓		
4-①	点滴注	メイン	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓					
4-②	点滴注	側管	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓					
5	点滴注	側管	5-FU 生理食塩水	400mg/m ² 50mL	全開で	↓					
6	点滴注	メイン	5-FU 生理食塩水	2400mg/m ² mL※	46時間持続静注 バクスターインフューザーSV2.5	→					

※生理食塩液の量は5-FUの量により決定する。

★1クール＝14日

～MEMO～

- ・催吐レベル4(90%以上)
- ・アービタックスの初回投与量は400mg/m²を2時間かけて、2回目以降は250mg/m²を1時間かけて点滴静注する。
- ・アービタックス投与中及び投与終了後少なくとも1時間はバイタルサイン等をモニタリングする。
- ・アービタックス投与前後は生食でフラッシュすること。
- ・アービタックス終了後、1時間ルートキープにて休薬する。
- ・アービタックス使用にあたってはEGFR陽性、KRAS遺伝子の野生型を確認する検査を実施すること。
- ・オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)
- ・6 は持続注入用のポンプを使用して46時間で投与する。